

これだけ分かれば
増売間違いなし!

Q & A 集

CPU(コンピュータ出版販売研究機構)編

※本パンフレットの情報は2012年10月15日時点のものです

Windows 関連

⇒ 発売日・入手方法

Q Windows 8およびプレインストールマシンの発売はいつか?

A 2012年10月26日です。Windows 8が入っている(インストールしてある)パソコンもその日以降に発売されます。

Q Windows 8にはどんな種類があるのか?

A Windows 7には、Home Premium(ホームプレミアム)、Professional(プロフェッショナル)、Ultimate(アルティメット)などいくつかの種類(エディション)があり機能が異なりますが、Windows 8では、Windows 7のHome Premiumに相当するのが「Windows 8」になります。またProfessionalに相当するエディションが「Windows 8 Pro」となります。

Q Windows 8はどこで買えるのか、価格は?

A Windows 8はパソコンショップや家電量販店、およびそのインターネットショップでパッケージ販売されます。ただしこれは、以前から使っていたパソコンに自分でWindows 8をインストールしたい人向けのものです。2012年6月2日~2013年1月31日の期間中に新品のWindows 7パソコンを購入した場合は、マイクロソフトのWebサイト(<http://www.windowsupgradeoffer.com/ja-JP>)に申し込むと1,200円で購入(ダウンロード)でき、自分でインストールすることができます。また、Windows 8 proのXP、Vista、7からのアップグレード版は6,000円前後で販売されており、同製品のダウンロード版はマイクロソフトのWebサイトで3,300円(期間限定)で購入できます。

Q Windows 8にアップグレードする際の注意点は?

A Windows 7が動作するパソコンであれば、Windows 8のアップグレードはさほど難しくはありませんが、以下の点に注意が必要です。

- アップグレード前に、Windows 7にインストール済みのアプリケーションや、パソコンに組み込まれている特定機器のドライバーを削除しないといけないうえがあります。アプリがWindows 8で継続して使えるか、ソフトメーカーのWebサイトで確認しておくとう安心です。また、パソコンメーカーによっては、Windows 8用の専用ドライバーに関する情報を公開している場合もあるので、こちらもWebサイトで事前にチェックしておくとういいでしょう。
- アップグレード時に「Windows 7の設定を引き継ぐ項目」を忘れずに選びます。

Q パソコンのスペックはどれくらい必要か?

A Windows 8の発売前に公開されたRelease Previewでは、Windows 7が動作するパソコンであれば問題なく動作することが発表されました。具体的なシステム要件としては、「プロセッサ：1GHz以上」「メインメモリ：1GB(32ビット)、または2GB(64ビット)以上」「ハードディスク空き容量：16GB(32ビット)、20GB(64ビット)以上」「グラフィックカード：DirectX9グラフィックスデバイス」とされています。もちろん、メモリやハードディスクの容量は多いほうがよく、CPUやグラフィック性能も高いに越したことはありません。

これに加えて、特定の機能を使うための追加要件として、次の内容が提示されています。

- **タッチ操作を使う場合**：タブレット、またはマルチタッチ対応モニター
- **Windows Storeへのアクセス/アプリのダウンロードと実行**：インターネット接続、1,024×768以上の画面解像度
- **アプリをスナップ(ウィンドウを画面の端までドラッグするとサイズを自動調整する機能)**：1,366×768以上の画面解像度

⇒ 特徴・従来バージョンとの違い・バージョンアップ

Q ズバリWindows 8の「売り」は何? どんな便利な機能が加わったの?

- A 以下のような改善や機能追加が行われました。
- 対応機器であれば、スマートフォンのように画面を指でタッチして使えるのが最大の特徴です。2012年秋以降にはタッチ操作ができて本体からモニタを切り離してタブレットにできるノートパソコンが発売予定です。
- Windows 7以上に動作が軽快です。
- [スタート]メニューと[スタート]ボタンがなくなり、スタート画面が新たに用意されました。ただし、パソコンメーカーによっては、従来のWindowsにあったような[スタート]メニューの代わりに独自メニューを用意することも考えられます。
- マイクロソフト製のウイルス対策ソフトがはじめてからWindows 8に入っています。
- スタート画面からクリック1つでいろいろなアプリを起動できます。
- インターネットの専用ストア(アップルのMac App Storeのようなイメージ)でWindows 8用の有料・無料のさまざまなアプリを入手・購入しインストールできます。

- 「マイクロソフトアカウント」という専用のアカウントを取得すれば、ストレージサービスの「SkyDrive」をはじめ、マイクロソフトが提供する各種クラウドサービスを利用することができます。
- マイクロソフトアカウントを使えば、複数の機器で同じ操作環境を利用できます。

Q Windows 8と7、どちらが使いやすいか？

▲Windows 8はWindows 7をベースに改良して作られているので、デスクトップ画面で使う限り大きな差はありません。しかし基本操作方法が大きく変わった箇所もあり、これまでのWindowsに慣れている方は戸惑うかもしれません。Windows 8は、アップルのタブレットiPadのような使いやすさの向上に重点が置かれています。文字も大きくシンプルで見やすくなるので、パソコンが苦手だった初心者や不慣れな人、新しいパソコンを試してみたい方には向いているでしょう。

Q Windows 8にすると速くなるのか？

▲数カ月前に海外のサイトで、Windows 8(プレビュー版)とWindows 7の速度を比較検証するテストの結果が発表されました。そのレポートによれば、多くの項目でWindows 8のほうが処理速度が速いという結果が出ています。なかでもパソコンの電源を入れてからWindowsが起動するまでの時間は、大幅に短縮されているとのことでした。

Q 最初にデスクトップが出てこないが使いこなせるか？

▲スタート画面で「デスクトップ」というアイコンをクリックすると、従来のデスクトップ画面が使えます。ただデスクトップ画面は、Windows 7から「スタート」ボタンをなくしたような形です。「スタート」メニューの代わりにスタート画面があり、これまで「スタート」メニューが持っていた機能は分散されました。Windows 8での新しい操作方法をマスターしましょう。

Q タッチ操作じゃないと使えないのか？ マウス操作はもうできなくなる？

▲スマートフォンやiPadのようにタッチ操作で使うための、シンプルで分かりやすい操作画面がスタート画面で使われています。そこから起動するWindows 8スタイルアプリも、タッチ操作で使いやすいようにシンプルな操作画面になっています。この画面をマウスとキーボードで使うこともでき、タッチ操作でしか使えないということはありません。

Q セキュリティについて

▲Windows 8もこれまでのパソコンと同じようにウイルスなどインターネットからの攻撃への対策が必須です。はじめからWindows Defender(ディフェンダー)と呼ばれる保護機能が働いていますが、これは最低限の機能です。パソコンをより安全に使うために、Windows 8に対応したセキュリティ関連のソフトウェアを適用することをおすすめします。

Q Windows Storeって何？ そこで何が買えるの？

▲マイクロソフトが提供する、Windows 8向けのアプリケーション販売ストアです。アップルのApp Storeと同様のサービスで、Windows 8で動作するさまざまなソフトウェアを購入しダウンロードすることが可能になります(無料アプリも提供されます)。Windows Storeで販売されるのは、大きく分けて、Windows 7との互換性がある「デスクトップアプリ」と、

Windows 8用アプリケーションである「Windowsストアアプリ」の2種類があります。

Q IEはどれくらい変わるのか？

▲Windows 8には、「デスクトップアプリ版IE」「Windowsストアアプリ版IE」の2種類のIEが搭載されています。デスクトップ版はWindows 7版IEの流れを汲んだバージョンアップ版であり、ストアアプリ版はタッチ操作を前提に作られた新しいIEであるといえます。

デスクトップ版に関しては、Windows 7のIE9を利用していた方であれば、違和感なく利用することができるでしょう。もちろん、HTML5やCSS3への対応がより強化されるなど、各種機能は向上しています。

一方のストアアプリ版では、タッチ操作による操作方法の違いだけでなく、画面表示や機能面でも過去のIEから大きく変わっています。さらに、さまざまなプラグイン(FlashやSilverlightなど)はすべて廃止されているため、ストアアプリ版では見ることができないWebサイトも少なからず存在します。

そのため、当面はデスクトップアプリ版とストアアプリ版のIEを使い分けていく必要があると考えられます。

Q マイクロソフトのクラウドサービス(SkyDriveなど)について

▲マイクロソフトアカウントを取得すると同社が提供するHotmail(Webメール)、カレンダー、フォト、メッセージング、SkyDrive(オンラインストレージ)といった各種クラウドサービスが利用できます。インターネットに接続できる環境なら、OSを問わずパソコン、タブレット、スマートフォンでメールの送受信やデータの閲覧、共有などが可能となります。マイクロソフトアカウントは無料で、新規取得した場合、SkyDriveは7GBまで利用できます。

➡ 移行・注意事項

Q Windows 8は自分のパソコンで動くか？

▲これまで使っていたWindows 7パソコンを8にアップグレードするときの注意点などについては、各メーカーがサポートやサービスを公開しはじめています。まずここをチェックして、自分の使っているパソコンにWindows 8をインストールしても問題ないかどうか確認しましょう。

Q 既存のディスプレイでのタッチ操作はできる？

▲既存の未対応ディスプレイではタッチ操作はできません。ただし、現在、タッチ操作ができるディスプレイが2万円以下で入手できるので、デスクトップパソコンであれば、ディスプレイの買い換えで、ある程度のタッチ操作が可能となります。

Q 既存の周辺機器(プリンター、デジカメなど)は使える？

▲ソフトや周辺機器はWindows 7に対応しているものなら問題なく使えるとされています。基本的にはメーカー側が「Windows 8対応」をうたえば、そのまま利用できると考えてよいでしょう。メーカーの確認が得られないものは、特定の機能などがWindows 8に対応しておらず、使えなくなる可能性があります。その場合はWindows 7やVistaで使い続けるほうが安心確実です。

Q これまでのデータ（マイコンピュータ、壁紙、フォルダー）は使える？

A これまでのデータは問題なく利用できます。ただし、壁紙の設定が一時的に無効になるようなケースはあり得るので、再設定の必要があるかもしれません。

Q これまでのメールは使える？

A Windows 8でもこれまでのメールは使えます。ただし、「古いパソコンにあるメールデータをWindows 8が搭載された新しいパソコンのメールに移行する」のは手間と時間がかかります。OSの入れ替えごとにメールデータを移行するのは大変なので、Webブラウザを利用する「Webメール」を利用することを将来的に検討したほうが良いでしょう。

Q これまで使っていたパソコンに入っていたOfficeは新しいWindows 8パソコンで使える？

A パソコンに最初からインストールされているソフトの多くは、そのパソコンでのみ使えることが契約で決められています。その場合、たとえばExcelやWord、PowerPointを別のパソコンに移して使うことはできません。自分でOffice 2010などを購入してインストールした場合は、今使っているパソコンからソフトを消去（アンインストール）して、新しいWindows 8パソコンにインストールしなおして使うことができます。

Q 既存のアプリケーションソフトはそのまま使える？

A Windows 8で動作するソフトには、大きく「デスクトップアプリ」「Windowsストアアプリ」の2種類があります。Windows 7用のソフトは、Windows 8上ではデスクトップアプリとして動作させることとなります。Windows 8と7には互換性があるとされており、Windows 7向けの多くのソフトは問題なく動作すると考えられます。

しかし、残念ながらすべてのソフトが問題なく動作するかどうか、確実な回答はできません（ソフトメーカーによる検証、発表を待つのが最も確実です）。たとえば、プリンターなど周辺機器のデバイスドライバーは、Windows 8用のものが提供されるのを待つ必要があるかもしれません。

また、Window XPやVistaを想定環境としている古いソフトやインターネット上で公開されているフリーウェアやシェアウェアなどでは動作しないケースも考えられます。

Q Windows 7のサポートはいつまで続くのか？

A 現在のところ、個人向けのWindows 7については、2020年1月までセキュリティ更新プログラムが提供されることが発表されています（2012年10月現在）。

➡ 市場の動き

Q Windows 8のマーケットシェアはどうなっていくの？

A Windows 98やXPの時代と違い、新しいOSがリリースされたからといって、多くの人たちが一挙に飛びつくという状況ではなくなっています。しかしながら、Windows 8は、これまではないスマートフォンやタブレットとの相乗効果による普及が期待されています。

Q 今後はWindows 8搭載のマシンしか発売されない？

A マイクロソフトは、Windows 7の延長サポートの終了を

2020年と宣言しています。2013年ごろまでは、引き続きWindows 7のパソコンは普通に販売されますが、メーカーがWindows 7の新しい機種をあまり作らなくなりますので、お店で見かける機会は次第に減っていくでしょう。

Q Windows 8はタブレット端末もあるそうですが？

A Windows 8ではタブレット端末も発売されます。マイクロソフト自身もタブレット型の「Surface（サーフェス）」を発売する予定です。タブレットに薄いキーボード付きカバーを組み合わせたもので、OSはWindows 8でアップルのiPadの対抗製品といわれています（2012年10月現在、日本での発売予定や時期についての公式発表はありません）。

Q Windows Serverも変わるのか？

A Windows Serverの最新版であるWindows Server 2012は、Windows 8に先がけて2012年9月1日から正式提供が開始され、日本でのパッケージ版出荷は9月26日からはじまりました。Windows 8のようなインターフェイスの劇的な変化はありませんが、仮想化機能の強化、クラウドとの連携など、数多くの新機能や機能強化が図られています。

Q タッチパネルは普及するか？

A 国内外の主要パソコンメーカーは、今後、タッチパネルが搭載されたWindows 8パソコンを多数、発売してくるであろうといわれています。Windows 8の登場をきっかけに、ユーザーの選択肢が増え、タッチパネル付きパソコンも徐々に普及していくのではないのでしょうか。

Q 企業での導入、アップデートは進むのか？

A 多くの企業では、現在しっかりと稼働しているパソコン環境をまったく新しくすることには慎重です。しかし、昨今ではセキュリティ対策をしっかりと講じるようになってきていることもあり、新しいOSは徐々に普及していくものと思われます。また、Windows 8になって強化された機能に期待する先進的な企業では、早期に導入するケースもあるでしょう。指でタッチして使いまわしのよいタブレット版のWindows 8などを、新規に導入し活用する事例も出てくるかもしれません。

➡ その他

Q Windows Phoneとは何？ タブレット端末やWindows 8パソコンとの違いは？

A Windows Phone（ウィンドウズフォン）はマイクロソフトの技術がベースになったスマートフォンのシステムで、アップルのiPhoneやグーグルのAndroid搭載機のライバルといわれています。日本では現在、auから1機種（Windows Phone 7.5）が販売されており、Windows 8のデザイン・機能を踏襲したWindows Phone 8が発売される可能性もあります。

Q Windows 8のタブレット端末、Windows Phone、パソコンの連携はどうなるの？

A タブレット端末やWindows Phoneを利用するときに、前述のマイクロソフトアカウントによりログオンすることで、同社の提供するクラウドサービスが活用できます。カレンダーやスケジュール、撮った写真、メール、ブラウザのブックマークやExcelファイルなどもパソコンと同期して、外出先でWindows Phoneを活用することも可能になるようです。

Q Windows Phone/タブレットアプリの開発環境は？アプリの種類や提供方法は？

A Windows 8のアプリケーション開発には、基本的にはマイクロソフトが提供するVisual Studio (ビジュアルスタジオ)2012を活用します。またアップルのApp StoreやグーグルのGoogle Playと同様に、マイクロソフトが運営するWindows Storeによるアプリケーションの配布 (有料/無料) も開始されます。

Office 2013 関連

Q 「Officeが低価格化」というウワサもあり！？発売時期はいつになるか？

A Office 2013は、一部で2013年初頭に発売されるといわれていますが、まだ正確な時期は発表されていません。マイクロソフトが2012年10月以降に発売するタブレットには「Office Home & Student 2013 RT」というお試し版Office (マクロやOutlookは使えない) がインストールされる見込みです。

また、中小企業向けには、一人当たり1カ月で600円から利用できる、インターネット版Office (Office 365) というクラウドサービスも強化されるようです。

Q Office2013もタッチパネル対応するのか？

A Office 2013は、現在β版に相当するものが提供されています。現状では、とくにタッチパネル操作を前提にしたものにはなっていませんので、Office 2010と同様、マウスとキーボードで操作するソフトだと考えてよいでしょう。

ただし、マイクロソフトのタブレット端末 (Surface) には、タブレット版Windows 8であるWindows RTと、Windows RT版Office 2013が搭載されることが発表されています。このWindows RT版Office 2013は、当然ながらタッチ操作を前提

にしたものになると考えられます。今後のOfficeの進化を予想するうえで重要な位置付けの商品ともいえるでしょう。

書籍関連

Q Windows 8の書籍やムックはすぐ発売されるの？また何点ぐらいあるの？

A 下の表を参照してください。

Q Windows 8が出たらWindows 7の本は売れなくなる？また棚構成はどうしたらよいの？

A 企業ユーザーはWindows 7を継続利用する人が多いので、当面は関連書籍も併売されるのがお勧めです。そして普及状況によって比率を変更してください。

Q アプリ本の発売は？

A ユーザー向け、開発者向けなど、今後ぞくぞくと対応書籍が刊行されるでしょう。

Q 現在発売中のCD/DVD付書籍 (8を想定して作られていないもの) は対応しているか？

A 素材集/イラスト集はおそらく対応できると考えられますが、ソフトについては各出版社に確認する必要があります。

Q 年賀状素材集は対応しているか？

A それぞれの素材集に明記されているので確認してください。

Q マイクロソフトの独自タブレット「Surface」は日本でも発売される？また関連書籍の刊行予定はあるか？

A 「Surface」が日本でも発売されれば (本稿執筆時点未定)、書籍は数社から発売されると思われます。

Windows 8 関連書籍・ムックの刊行予定

※書名、価格、刊行時期などの変更、および刊行アイテムの増加の可能性がございます

	書名	出版社	ISBN	判型	ページ数	本体価格	刊行日
1	できるWindows 8	インプレス コミュニケーションズ	978-4-8443-3296-1	B5変	320	¥1,000	2012/10/26
2	できるゼロからはじめるパソコン超入門 ウィンドウズ 8対応		978-4-8443-3297-8	B5変	256	¥1,000	2012/10/26
3	Windows 8新機能徹底検証 (ムック)		978-4-8443-3281-7	A4変	128	¥1,800	2012/9/22
4	いますぐわかるWindows 8(ムック)		978-4-8443-3307-4	A4変	112	¥562	2012/10/26
5	今すぐ使えるかんたん Windows8	技術評論社	978-4-7741-5348-3	B5変	320	¥1,000	2012/10/26
6	今すぐ使えるかんたん Excel&Word 2010[Windows8対応版]		978-4-7741-5349-0	B5変	512	¥1,980	2012/10/26
7	Windows 8 完全制覇パーフェクト	翔泳社	978-4-7981-2800-9	B5変	約800	¥2,780	2012/11/30
8	ポケット百科DX Windows 8 知りたいことがズバツとわかる本		978-4-7981-2799-6	B6	約400	¥1,480	2013/2
9	速習 Windows 8(仮)	ソフトバンク クリエイティブ	978-4-7973-7205-2	A5	280	¥1,380	2012/12/01
10	Windows 8 スゴ技BOOK		978-4-7973-7084-3	B5変	256	¥1,400	2012/12/28
11	作りながら覚えるWindowsストアアプリ・プログラミング (仮)		978-4-7973-7112-3	B5変	272	¥2,300	2012/11/29
12	速効!図解 Windows 8 総合版	マイナビ	978-4-8399-4479-7	B5変	448	¥1,780	2012/10/下
13	速効!図解 インターネット&メール Windows 8 対応		978-4-8399-4480-3	B5変	352	¥1,480	2012/10/下
14	大きな字だからスグ分かる! ウィンドウズ8入門 基本のキホン編		978-4-8399-4435-3	A4変	176	¥905	2012/12
15	大きな字だからスグ分かる! インターネット&メール入門 基本のキホン編 Windows 8対応		978-4-8399-4436-0	A4変	176	¥905	2013/1

CPU (コンピュータ出版販売研究機構) <http://www.computerbook.jp/>



- インプレスコミュニケーションズ tel: 03-5275-1410
- オーム社 tel: 03-3233-0641
- 技術評論社 tel: 03-3513-6150
- 翔泳社 tel: 03-5362-3810
- ソフトバンク クリエイティブ tel: 03-5549-1205
- ビー・エヌ・エヌ新社 tel: 03-5725-1188
- マイナビ tel: 03-6267-4477